地方通信

東北から

岩手　米八生

岩手縣花巻地方は、雪の深い所で、一段歩一石四斗位の收穫がある。その内八九斗は、年貢として地主に拂ひ上げられ殘りの五六斗が、俺達の收入だ。

昨年は地主にやる八九斗の收穫迄へもない不作だった。平年でさへやっと命を繋いでゐる俺達は、七轉八苦の有樣でやりくつてゐる。收穫の全部を地主にやつても皆は不足するやうな狀態だ。そこで收穫したゞけ全部差上げますからあとは、まけて呉れと願した。所が地主の野郎共は、一粒でもまけてやるものかと、用事をないとぬかしがるんだ。俺達は、平作で收穫あるから、拂られるを知りつゝ、駄目だヤンと諦めて今日に及んだのだ。だが昨年は金銭納めるだけ收穫がないから、本年の不足分をけまけろといふのに、何を不足論なんだ。肥料代も何もあるも小作人の方ではまる損なのだ。

今迄俺達は、搾られどうしに搾られて來た。だが俺達は屈伏して所れば所る程、地主の奴等は、俺達を馬鹿にしやがつて骨ガラミにシヤブろうとする。俺達が苦代から、米になる迄、汗水流して働いた結果である收穫物を、土地を借りゐるといふ單純な理由で、收穫の大半は、小作料と なつて飛んで終ふ。處が小作料丈はけまへ收穫のないのに寄越せとぬかしんだもの、ヌケない御人好しの俺達だつて、カンシャク玉が、破裂して終つた。年貢なんかも、要怖の前で地主に向迫した。だがこの俺達必死の運動も地主の用心棒たる警察の壓迫でとう〳〵敗けた。まあその内學識をとゝのへて再び戦つて見るだ。

岡山から

岡山支部報

◇兒島郡郡田村で、夏祭をメーデーに變更し大いに氣勢をあげて、地主と小作人は、親子といへども一個の人格者をせ手全く隔絶独立の氣勢だ。

◇美作水平社創立大會を、七月四五兩日に亙り美作津山町に開く可く、美作水平社同人（約二万人）準備中だ。

◇日本農民組合邑久上道聯合會は、總ての運動を聯合でやつてゐるが實に素晴らしい勢いだ。

◇淺口郡三和村大字下竹部落は、昨年來以來反當一斗五升減を要求して、强硬に談判した結果、遂に破裂して小作地全部返還したので、地主共は、各自自作をやるとポザイたが、結局同じ三ケ年間一斗三升減で解決した。何れ三ケ年の後には、小作人は搾土重來の勢で地主に肉迫するだろう。

◇真庭郡富原村大字月田の小作人は、昨年夫月以來小作料無減の運動して居たが、村長イヲムル有力者、郡長、坊主等に圧迫され去月解散にまで追込まれた。

編輯室より

農村の食糧問題は、農本主義問題に直接関係を結ぶ以上は、農本主義問題に直接関係を結ぶ以上は、農本主義問題は、本誌はもちろん、農業問題は、本誌はもちろん、農業問題は、本誌はもちろん、農業